



# JAあそだより

平成23年 8月



うそぐいの滝(高森町津留永野地区)

## ■今号16ページ主な内容

- JA阿蘇第10回通常総代会開催
  - 工藤保雄新組合長ほか新役員紹介
  - 各生産部会の出荷状況
- ほかJA阿蘇のニュース満載

2011  
夏

VOL.58

JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5  
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088



来賓祝辞、出席人員報告後、議長に小田清氏(小国町)写真上を選任し、議事に移りま

JA阿蘇の第10回通常総代会が6月24日、総代やJA阿蘇役員をはじめ管内自治体首長ら多数の来賓を迎え、阿蘇市体育館で開催されました。開会挨拶で中尾雄二組合長が「JA阿蘇は合併して10年を迎え、これまで一定の成果が出てきたと思うが、次の新たなステップに向けてさらなる確実な歩みを続けていきたい」と述べ、来賓祝辞、出席人員報告後、議長に小田清氏(小国町)写真上を選任し、議事に移りま



全議案とも議案通り承認  
新組合長に工藤保雄氏を選出



代表理事専務に笹原光司氏、代表理事常務に宇藤仁氏と岩下勇人氏、代表監事に宮川英明氏、常勤監事に徳永隆紀氏を選任しました。尚、総代会開会に先立ち、平成22年度表彰が行われました。(写真上は総代会関係者表彰の様子)

議事では「第1号議案」平成22年度事業報告及び剰余金処分案について、「報告事項」平成22年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書について、「第2号議案」平成23年度事業計画及び関連事項について、「第3号議案」役員選任について、「第4号議案」役員退職慰労金の支給について、「第5号議案」TPP反対の国民運動の展開と農業復権の実現に向けた特別決議案について」が執行部より提出され、質疑応答が行われた結果、全議案とも議案通り承認されました。役員の選任については総代会終了後、一の宮中央支所会議室で理事会が開かれ、代表理事組合長に工藤保雄氏、代表理事専務に笹原光司氏、代表理事常務に宇藤仁氏と岩下勇人氏、代表監事に宮川英明氏、常勤監事に徳永隆紀氏を選任しました。

## 平成22年度表彰者

### ■営農関係者

- 〔農産＝米〕 橋本 勇(小国郷地区)
- 〔農産＝麦・大豆〕成川集落営農組合  
代表 松岡光男(中部地区)
- 〔農産＝米〕 立田壽一(南部地区)
- 〔園芸＝大根〕 高村夏規(小国郷地区)
- 〔園芸＝トマト〕日隈忠治(中部地区)
- 〔園芸＝苺〕 村上豊彦(南部地区)
- 〔畜産＝肥育〕市原秀英(小国郷地区)
- 〔畜産＝養豚〕仰やまとんファーム  
代表 大和建一(中部地区)
- 〔畜産＝繁殖〕渡辺龍喜(南部地区)

### ■共済契約高額者

- 中島テル子(阿蘇町中央支所管内)
- 市原 富夫(長陽中央支所管内)

### ■永年勤続者(職員)

- (30年)  
山本 榮二(審査・債権対策室)
- 今村 和夫(阿蘇町中央支所)
- 宮崎 哲也(一の宮中央支所)
- (20年)  
筑紫百合香(営農部)
- 松本 博美(阿蘇町中央支所)
- 中島 隆文(一の宮中央支所)
- 井 達子(波野支所)
- 荒牧 和代(高森中央支所)
- 阿南喜和子(野尻支所)
- 津留みゆき(白水中央支所)
- 中村 優二(営農部南部地区)
- 河津 義明(総務部)
- 佐藤 順紀(金融部)

(20年)

- 池田 博文(金融部)
- 井野 静代(共済部)
- 高橋なるみ(共済部)
- 中嶋 幸代(営農部)
- 井野 敬介(阿蘇町農機車輛C)
- 倉岡みさ子(一の宮中央支所)
- 帆足 尚治(波野支所)
- 甲斐いつみ(高森中央支所)
- 田代 勝(白水中央支所)
- 高宮 良郎(白水中央支所)



## ◎組合員資格確認について◎

当JAに届け出て頂いている内容(氏名、住所、組合員たる資格の別等)に変更があった場合には、JA阿蘇本所 総務部総務人事課(TEL0967-22-6111)迄ご連絡ください。



代表理事組合長  
工藤 保雄  
(久木野)

このたびの役員改選によりまして、代表理事組合長をおおせつかりました工藤保雄でございます。どうぞよろしくお願いたします。

皆さんご承知のとおり阿蘇農業協同組合、合併以来10年の歩みを刻んでまいりました。先輩組合長をはじめ役員の方々の努力により経営の指針、指標はおおむね良好なものとなることができました。しかし、気を緩めてはならないことも否めない事実であります。次の10年のスタートにあたり、協同組合運動の基本的な定義、価値、原則を確認し、組合員、職員の意見や想いを良く聞き、そしてまた、理事がそれぞれの地域や組織の意見や実状を集約し、理事会や専門委員会等様々な開催行事について活発な発言をしていただける組合運営を目指します。

収支において信用、共済部門のウェイトが高い現実があります。その重要性を認識したうえで営農部門の充実を計りたいと思います。トップセールスに努め、コントロールセンターの利用推進を基本に販売高を増やし、一方、地域を越えた組合全域でのコスト削減に邁進します。組合員の皆さんに1円でも多く儲かっていたらいいと思います。

具体的には少し述べましたが、この厳しい社会情勢の中、組合員、地域住民に期待され、地域で選ばれる組織を目指し、また地域に貢献するJA活動の発展を期するため、積極的な事業活動を図ります。23年度は「JA阿蘇活動総合3ヶ年計画」の実践2年目として各事業の目標に対する進捗管理を行い緊急を判断し事業推進に取り組みます。

組合員の皆さん、地域の皆さんの尚一層のご支援、ご協力を心よりお願いし挨拶といたします。



代表理事専務  
(金融・共済担当)  
笹原 光司  
(一の宮)

今般の役員改選により代表理事専務に就任しました笹原でございます。その職務の内容を鑑みたくとき責任の重大さを痛感致しております。

さて、農業を取り巻く環境は農業従事者の高齢化、担い手不足、増加する輸入農畜産物、長引く原油価格の高騰等により肥料、飼料、生産資材、燃料の価格が値上がりし依然として厳しい状況下にあります。阿蘇地域の農業振興と組合員の所得向上を図ることを目的に、JA阿蘇として合併して早や10年が経過した中で、農家組合員の負担に応じられているか、そして良好な農協運営が図られているかを考えて行動を起こしていく必要性を認識する中で、JAの役割、責務を深く考え、JAと農家組合員が一体となつて将来を見据えた、足腰の強い

農業を確立するための知恵を絞って、役員一丸となり努力して参る所存でございます。

組合員の皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表理事常務  
(購買担当)  
宇藤 仁  
(高森)

この度の役員改選によりまして、購買担当常務を仰せつかりました宇藤仁です。

出身は高森町で、繁殖と肥育経営をやっている畜産農家です。私、浅学非才の身で、我が畜産経営も厳しく農家の痛みや状況は人よりも十分に認識しているつもりです。今日のJAを取り巻く環境は依然として厳しい状況下にあります。基本である農家のために、しっかりとJA運動を展開し後継者の希望ももてるJA阿蘇を築いていかなければなりません。取り組む課題として

- ◇農協と組合員との信頼回復
- ◇生産費のコスト低減
- ◇地域農業を支える担い手の育成強化等

さまざまな問題に積極的に取り組んでまいります。そのためには皆様の忌憚のないご意見ご教示を頂き組合長を補佐し購買担当常務として粉骨砕身で努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜ります様よろしくお願致します。



常務理事  
代表(営農担当)  
岩下 勇人  
(阿蘇町)

今回、営農担当常務として農協経営に参画いたします岩下勇人です。

私は趣味をスポーツ、生業を農業として40年間、一組合員として農業を通して組合活動に参画して参りました。今や、地域社会も農協界も世代交代が進む反面、組合員離れとともにJAの存在価値も希薄化しつつあり、再度組合員参画のもと地域に根ざした農協運動として、現状と将来を見つめ直す時と感じております。

まず、将来の地域農業を担う若い担い手がいない疲弊した農村社会を生んだのは今日までの政策の歪みからであり、生きる者の糧を生み出す地域農業の再生実現は、新たな農協の役割として大きな使命でもあります。

そこで政策に現場の声を反映させ、身近な政策と感じ、内容を理解し、農業者が将来にわたって安心して営農が続けられるような長期政策実現に向け、JAと現場が一体となった政策提言運動を国、地方自治体へ展開する場の構築と産地構造を変え、新たな営農活動・地域特産品の取り組みを積極的に後押しし、地域集落の活性化の寄与するJAを目指します。

二点目として、「JAは元気がなくなっている」との声をよく耳にします。

今後、特に先の震災で食料やエネルギー自給、人と人の絆の大切さが再認識される今日、JAの組織活動を通じ、地域がJAの求めている環境問題や食の安全・安心、次世代への食農教育、失われている地域での伝統・文化等、地域貢献を通じたJAファンづくりも事業の基盤強化に寄与することであり、新たな発想での取り組みを進めていきたいと考えております。

いずれにしても、JAを取り巻く環境は厳しさを増す中ではありますが、組合員主役の組織作り汗を流しますので組合員各位のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

組合員の皆様には、日頃より組合事業に対し、ご理解とご協力いただき厚くお礼申し上げます。



代表監事  
宮川 英明  
(蘇陽)

今回、第10回通常総代会において役員選任の承認をいただき、代表監事を仰せ付けられました宮川です。よろしく申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、先行きも見通せない状況にあります。日本中を震撼させた東日本大震災、被災地はもと

より、私たち農家経営にも、今後大きく影響してくるのではないかと考えます。

当JA阿蘇の経営収支においても同様、各事業の伸び悩みにより厳しい状況であります。このような中、組合員・利用者の皆様から信頼されるJAづくりを目指し、JAの経営方針を踏まえて理事の経営管理体制・業務執行体制・財務管理・監査規程について法令遵守の状況等を検証し、監査を実施致します。

これまで監事として経験させていただいたことを活かし、代表監事の責務を果たしてまいりますので、今後共々ご指導方よろしく申し上げます。



常勤監事  
徳永 隆紀  
(区域全域)

今般の役員改選により常勤監事に就任しました徳永でございます。

組合員の皆様には益々、清祥のこととお喜び申し上げます。また厳しい農業情勢が続くなか、平素より農業経営の安定強化に努められるとともに、地域の農業振興並びに地域社会の維持発展のためにご尽力いただき、衷心より敬意を表す次第です。

さて、監事は組合員の負託を受けた独立の機関として理事の職務執行を監査することにより、組

## J A阿蘇 新執行部就任ご挨拶③

※前ページより続く

合の健全性を確保し、組合員および社会からの信頼に応える良質な組合統治を確立する責務を負っています。

このため、JA経営課題について認識を深め、経営環境の変化を常に把握しておく必要があります。その上で監査の品質向上のため常に自己研鑽に努め、独立性を保持し、「公平無私・不偏不党」の立場で自らの信念に基づき行動しなければなりません。

そのなかで常勤監事は日常的監査業務として情報収集や調査を適時・的確に行い、監事会を通じて監事の共有化を図っていく役割があることを強く認識しています。

ご承知のとおり当JAは現在「JA阿蘇活動総合3カ年計画」の実践2年目を迎え、組合員・役員一体となって取り組んでいるところです。監事として取り組みの進捗状況を注視し、目標達成に努めてまいります。

一方で、JAの自己管理能力・自己責任原則が重視されるなか、内部統制や法令等を遵守することが強く求められています。このため、JA全国監査機構・内部監査とさらに連携の強化を図り、JAの健全経営の確立を図るため、全監事一体となって業務遂行に努めてまいります。

また、これまでのJA職員としての経験を活かし、組合員・役員、JA・県連とのパイプ役としての役割発揮も常勤監事の職務の中で果たしていきたいと考えています。

組合員の皆様のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## J A阿蘇 新理事のご紹介①



中野 敏嗣  
(西原)



佐々木正純  
(鏡野)



志賀 泰次  
(鹿山)



後藤 勝美  
(一の宮)



大塚 恵志  
(白水)



三森 和義  
(一の宮)



興柁 政純  
(白水)



吉良山 友二  
(野尻)



工藤 西男  
(高森)



興柁 修  
(蘇陽)



山邊 真治  
(蘇陽)



中島 邦博  
(西原)



藤林 満也  
(阿蘇町)



佐藤 保  
(黒川)



甲斐 吉郎  
(黒川)



中尾 雄二  
(長陽)



長野 恵藏  
(長陽)



古澤 博保  
(久木野)

## J A阿蘇 新理事のご紹介②



北里 千尋  
(小国)



原山 寅雄  
(小国)



宮崎 徳雄  
(小国)



草尾 正行  
(阿蘇町)



吉岡 祐一  
(阿蘇町)



今村 孝一  
(阿蘇町)



杉本 いよ  
(女性部)



菅 美佐子  
(女性部)



今村 孝典  
(青壮年部)



宇都宮 章吾  
(南小国)



佐藤 亨  
(南小国)



梅木 正一  
(南小国)

## J A阿蘇 新監事のご紹介



山部 賢次  
(一の宮)



藤田 和美  
(阿蘇町)



岩下 友春  
(白木)



津留 明義  
(高森)



梅田 正剛  
(小国)

「JA運営に参画しよう!」青壮年部・女性部合同で常勤役員と対話集会

「農協運営に参画しよう」と、JA阿蘇青壮年部と同女性部は7月25日、JA阿蘇役職員との対話集会を阿蘇市で開き、青壮年部・女性部からは各支部長や担当理事、JA側からは常勤役員や各部室長ら30人が出席しました。工藤保雄組合長は「青壮年部、女性部の組織力は今後のJA運営に欠かせない存在。活発な意見をどんどん出して頂きたい」と挨拶。青壮年部からは、今後のJA阿蘇の方針やT P P問題について、また女性部からは女性がJA事業に参画するため、家族の理解を得られるよう組合員教育の充実などの要望が出され、活発な意見交換が行われました。一方、JA側からは組織活動への一層の支援を伝えました。

下城博志青壮年部長は「農業に魅力を持てるJA運営を行ってほしい。これからも青壮年部と女性部が協力し、積極的に参画していきたい」と語っていました。写真右側は意見交換が行われた対話集会



更なる園芸部会の振興めざし  
「JA阿蘇園芸連絡協議会」設立

J A阿蘇園芸連絡協議会設立総会が7月8日、阿蘇市で関係者ら約80人が出席し開かれました。冒頭の挨拶で二子石富士夫園芸部会長が「園芸部会から園芸連絡協議会への移行は、地域枠を超えた専門部会の協議や、まると阿蘇ブランドの確立、多くの農業収入、部会員の所得の向上につながる」と抱負を語り、議事に移りました。

議事ではイメージ図、機構図、基本方針などの説明が行われ、総合的振興活動、地域振興活動の2点を柱に地域枠を超えた専門部会、組織整備に関する協議、集果場の統廃合の検討などが行われました。尚、役員には初代連絡協議会会長に二子石富士夫さん、同副会長に山本誠也さん、女性部代表に長谷部まち子さんが選出されました。(写真右＝関係者ら約80人が出席し開催された設立総会)

J A阿蘇中部園芸部会「総会」  
前年度は1.15%を達成

中部園芸部会の第10回総会が5月30日、阿蘇市で開かれ20の専門部会の役員やJ A関係者ら43人が出席しました。岩下明部会長は挨拶で「農家個々の経営安定が

一番で、昨年の販売高が「昨年に比べ1.15%と伸び、今年度もこのような年になるように取り組んで頂きたい」と述べました。総会では10年度事業実績報告や11年度事業計画など4議案が承認されました。また、本年度より園芸部会が園芸連絡協議会に移行するため、事業内容を具体的に実践していくことなどが承認されました。

(写真＝挨拶する岩下明部会長)

夏秋キュウリ11月下旬まで出荷  
中部キュウリ部会

阿蘇市管内では6月3日から夏秋キュウリの出荷が行われています。中部キュウリ部会の市原伸博さんは「キュウリを30年作っているが、出荷期間中は病害防止などに全神経を集中し、栽培に励みたい」と笑顔で話しています。同部会では主にブルームレスキュウリとブルームキュウリの2種類を栽培しており、ブルームレスは地元市場に、ブルームは福岡の生協へ出荷をしています。指導員の井手友和職員は「長期間の作型だが、肥培管理を十分に指導し10a当たりの収量を10t以上目指したい」と語り、販売担当の古閑誠幸職員は「販売促進等を行い、このおいしいキュウリをたくさんの人

1億2000万円の販売めざす！  
中部トマト部会

J A阿蘇中部地区管内では6月より夏秋特産トマトの出荷が行われています。阿蘇市の岩下繁成さんは40aのほ場で36年にわたるトマトの栽培を行っており、今季も「病害など出さないように肥培管理を徹底し、11月



キュウリの収穫作業

ウリとブルームキュウリの2種類を栽培しており、ブルームレスは地元市場に、ブルームは福岡の生協へ出荷をしています。指導員の井手友和職員は「長期間の作型だが、肥培管理を十分に指導し10a当たりの収量を10t以上目指したい」と語り、販売担当の古閑誠幸職員は「販売促進等を行い、このおいしいキュウリをたくさんの人

下旬まで出荷を続けたい」と抱負を語り、指導員の平野伸太郎職員も「今後とも樹勢管理指導に努めたい」と話していました。中部トマト部会の作付面積は34.2ha(前年同)、生産者142人(前年同)で、出荷計画を85万ケース(1ケース4kg)、1億2000万円の販売額を見込んでいます。



(写真＝1段目の収穫作業風景)

品質・味良好「阿蘇トマト」  
南部野菜センターの選果・出荷

J A阿蘇南部地区の南部野菜センターでは6月中旬よりトマトの選果・出荷が始まっており、7月に入り出荷数量が増加しています。7月現在の日量は約300ケースで、県内を中心に九州・中国地方へ出荷されています。南部野菜センターは2005年に新設され、カラーセンサー付きの選果機で規格の均一化、高品質な製品出荷を

行っており年々市場評価が高まっています。南部トマト部会では今年より品種を「りんか409」に変えており、今後の販売拡大が期待されています。

同部会の11年度作付面積は22.1ha(前年比101%)、栽培戸数69戸(同97%)で、出荷は12月まで続き、出荷数量1800t、販売高5億6000万円を計画しています。



(写真) 電話的作業を行う作業員

### 「阿蘇ミニトマト」11月まで出荷

#### JA阿蘇南部地区

JA阿蘇白水ミニトマト部会(後藤操部会長)では、6月中旬より2011年産ミニトマトの出荷が始まっており、連日、同地区の野菜センターには生産者がバツク詰めしたミニトマトが持ち込まれ、県内市場を中心に出荷されています。白水ミニトマト部会は、過去に県野菜振興協会より団体



功労賞を受賞しており、長年にわたり高品質の商品を出荷し市場からも高い評価を得てきています。本年度は栽培者19人(前年同)、栽培面積5.6ha(前年同)、出荷数量200t(同111%)、品種はキャロルクイーン(66%)、サンチエリーピュア(34%)となっており、11月まで出荷を予定しています。

(写真右) 品質チェックを行うJA職員

### 高森メロン部会 「赤肉メロン」好評のうちに 7月上旬出荷終える

JA阿蘇高森メロン部会(三森一男部会長)の赤肉メロン「レノン」の出荷が7月上旬で終盤を迎えました。高森地区は平坦部から始まるメロンのリレー販売の最後を締める産地で、他産地との違いを出すために赤肉メロンの生産に力を入れ、年々市場評価が高まっています。交配時期の5月上旬から下旬にかけては天候に恵まれたこともあり、糖度も15度以上と今季も

### 夏秋ピーマン12月まで

#### 九州地区中心に約500t出荷

JA阿蘇ピーマン部会(玉目隆利部会長)では、6月中旬から夏秋ピーマンの出荷が続いています。今年度は昨年度の反省から、ハウス栽培では「京まつり」を、露地栽培では「さらら」の2品種を作付し、「阿蘇ピーマン」のロット数確保を目標にしています。

指導担当の後藤真智職員は「品質



例年になく品質となりました。

(写真左) 出荷最盛期、収穫作業をする三森部会長



は良好。今後は個々の生育状態を確認しながら指導していきたい」と話しています。同部会では、作付前の土壌分析により必要な施肥量を算出し、無駄のない低コスト栽培を実践。販売面においても昨年度より隣接する蘇陽地区と部会を統合し、一元化販売を実施しています。今年度の作付面積は南部地区全体で約7haとなっています。

(写真左上) 品質確認を行うJA職員

### 「ヒゴムラサキ」袋詰販売で 都市圏へ売り込み



JA阿蘇南部ナス部会(本田五男部会長)は6月20日、2011年度出荷査定会を高森中央支所で行い、生産者や関係者ら約50人が参加しました。今年産の出荷は5月中旬より始まっており、本田部会長は「更なるブランド化を進めていく上で販売促進活動が重要になる。生産者一丸となって取り組んでいこう」と力強く挨拶しました。査定会では市場関係者とJA



※前ページより続く  
担当者が一緒になって等級の確認を行いました。今年は12月まで出荷計画を立てており、4万5000ケース（1ケース7kg）、6000万円の売り上げを予定しています。

また同部会では、昨年より東京・名古屋・福岡などの大都市圏での販路拡大・有利販売を目的に、レシピを紹介した「袋詰」出荷を始めています。7月中旬現在、日量300ケース程度の出荷が行われ、袋詰として出荷されるのはその1割程度となっています。

同部会では今年も消費者との交流会（体験ツアー）など予定しており、「消費者に安全・安心なナスを届けたい」と意気込んでいます。今年度のヒゴムラサキの作付面積は24haで生産者は17人となっています。



出荷査定会での等級確認

## 役員改選や表彰など行う JA阿蘇西原里芋部会



西原里芋部会（永田悦郎部会長）は7月5日、西原支所で2010年度総会を開き生産者や関係者ら約50人が出席しました。総会では事業実績報告や役員改選など6議案が承認されました。また、総会に先立ち各部門ごとの成績優秀者への表彰も行われました。

表彰は次の方（敬称略）です。

- ▽販売高部門1位＝藤森徳次、同2位＝東洋一、同3位＝東直人
- ▽計画出荷部門1位＝藤田治康、同2位＝広瀬祐一、同3位＝坂田明雄
- ▽新役員＝部会長＝今村秋敏、副部会長＝山下一義、会計＝東義秋、監事＝内田稔・藤田哲

（写真右＝表彰を受ける成績優秀者）

## 阿蘇高原りんどう出荷検討会 萩の草りんどう部会

JA阿蘇萩の草りんどう部会は7月8日、一の宮町の草地区（標高750m）で高原りんどうの出荷検討会を行い、県普及指導課や市場・生産者、JA関係者ら20人が出席しました。

後藤孝治部会長は「今年度は夜温の低下などで生育が10日程遅れているが、今後の栽培管理次第で例年並みに流通できる」と話し、花卉指導員の笹原祥樹職員は「品質は問題なく、今後の病害虫防除を徹底指導していきたい」と語りました。同部会は部会員数9人、栽培面積6.4haで出荷100万本を計画。出荷は11月下旬頃まで行われ、販売先は九州管内が中心です。



「萩の草りんどう部会」出荷検討会の様子

## 今年度の部会目標は 「迅速な行動と感謝の心」

### 南部イチゴ部会総会



挨拶する山辺達也部会長

JA阿蘇南部イチゴ部会（山辺達也部会長）は7月12日、南阿蘇村で第20回南部イチゴ部会総会を開き、生産者ら約50人が出席しました。総会では2010年度事業報告や役員改選など8議案が承認されました。総会に先立ち10年度優秀者への表彰も行われました。

山辺部会長は「依然として販売環境は厳しいが、消費地から選ばれる産地作りへの取り組みを今後も継続していきたい」と挨拶。出席した生産者からは部会役員の産地研修や今後の部会運営について意見が出されました。

部会目標としては「迅速な行動と感謝の心」を掲げ、時代の流れを掴み洲

※前ページより続く

費地で単価のニーズに応える販売アイテムへの取り組みを更に強化する意向を打ち出しました。また、品質面のクレームに対しては感謝の気持ちで対応し、選ばれる産地作りを目指すことを確認しました。尚、新役員は次の方々(敬称略)です。▽副会長＝島田豊、副部長兼会計＝中村辰則、監事＝芹口正典・藤田精一

**販売額4億4000万円  
前年を大きく上回る  
中部イチゴ部会反省会・総会**



挨拶する山本誠也部会長

J A阿蘇中部イチゴ部会は7月15日、2010年度総会及び反省会を阿蘇市で開き、部会員や市場・J A関係者ら75人が出席しました。10年度は出荷数量1527万パック(1パック300g・前年比94%)、販売金額4億4000万円(同一06%)と前年を大きく上回りました。

山本誠也部会長は「販売促進による有利販売、食味審査会を通じた生産者間の食味の均一化、安定した出荷量と品質の高いイチゴを供給する質量ともに真の力のある産地となろう」と挨拶しました。市場関係者からは「シーズンを通して安定した供給を頂き、消費地としては大変ありがたい。品質的にも安定しており、消費拡大に大きく貢献できた」と評価を得ました。

当日は10年度の部門表彰も行われ、表彰者は次の方々(敬称略)です。  
▽反収金額部門＝嶋野妙子・松本昭信・大津功▽秀品率部門＝春山哲徳

**「地域の大豆を復興」  
高森中央小3年生が大豆播種**

「地域の大豆を復興しよう」とJ A阿蘇青壮年部高森支部は6月14日、高森中央小3年44人と高森町のほ場15日に地大豆「みさを大豆」の種まきをしました。児童らは青壮年部から説明を聞き、1粒ずつ丁寧に植え約1時間で作業を終えました。今後、収穫した大豆で豆腐や納豆作りをする予定です。

**「阿蘇の景観を守れ!!」  
JA阿蘇青壮年部が環境美化**



「阿蘇の景観を守ろう」とJ A阿蘇青壮年部は7月2日、部員約50人が参加し阿蘇市の道路約2kmにわたる草刈りやゴミ拾いを行いました。下城博志部長は「観光地である阿蘇の景観を守ることも大事だが、部員の交流を図り活動に協力してもらいたい」と話していました。

部員の指導で大豆を蒔く児童



**慶祝者29人を表彰  
農林年金受給者連盟阿蘇支部総会**



慶祝者表彰を受けた会員のみなさん

農林年金受給者連盟阿蘇支部は6月30日、阿蘇市で第35回通常総会を開き会員や役員ら約60人が参加しました。総会では2010年度活動報告や2011年度活動計画など全3議案を承認しました。原山勝同支部長は「特例年金制度の維持と受給者の生活安定を図る活動をはじめ、会員の加入促進・連盟組織の強化等を重点的に取り組んでいきたい」と挨拶。11年度慶祝者として喜寿の22人、米寿の7人に表彰状と記念品を贈りました。

総会後は熊本県農林年金相談員の米村身一さんより、年金制度をめぐる情勢等についての講演がありました。

青壮年部が新しい政策提言  
ポリシーブック策定研修会



真剣に研修に取り組む盟友

「新しい政策提言を確立しよう」と J A阿蘇青壮年部(下城博志部長)は7月11日、盟友 J A関係者ら約40人が参加し、ポリシーブック策定研修会を本所管農部で行いました。「ポリシーブック」とは盟友一人ひとりが日頃から感じている疑問や課題を出し合い、その解決策を議論し内容をまとめた政策提言集で、今年度から J A全青協が全国的に展開している活動です。

研修会では、事前研修を受けた役員がリード役となりグループワークを行いました。各盟友から様々な意見や要望が出され、役員がその意見を取りまとめ、①農畜産物価格低迷・資材の高騰問題、②農業後継者不足・農業者の高齢化問題、③農業政策問題、

④ J Aに関わる問題、⑤農地問題、⑥青壮年部問題の6項目について解決策を話し合いました。下城部長は「盟友個々の農業への思いを文章化することで目標が明確になる。盟友がしっかりと学習活動を行い、行政等に要望できるポリシーブックを作成していきたい」と熱く語っていました。

直売所・女性部合同で  
新料理「大根ゼリー」など創作



J A阿蘇女性部と直売所(小国郷朝どり市)は6月14日、J Aの調理室で小国郷で収穫された大根を使った料理研究会を開きました。今回参加した会員7人は、「大根の天ぷら」や「大根ゼリー」など独創性豊かな6品を作りました。なかでも「大根ゼリー」は型でくりぬいて砂糖で煮詰めた大根をゼリーで固めたもので、洋ナシみ

「女性部の輪を広げよう」  
3支部合同で健康教室



J A阿蘇女性部白水・久木野・長陽の3支部では、6月21日より合同で2017年度健康教室を始めました。

当日は家の光協会講師の萬野保子さん指導のもと、部員15人が音楽に合わせて健康体操などをしました。3支部では今後も料理教室など計画し、地区を越えた部員交流の場を作っていききたいとしています。

(写真右)健康体操をする女性部員

たいな食感が感じられる自慢の一品です。

女性部担当の津江美紀さんは「いろいろ試行錯誤しながら、今後もあるんな食材を使った料理を作っていきたいと思います」と抱負を語っていました。

(写真上)女性部の皆さんと大根ゼリー(左)、大根の天ぷら(右)

「九州農政局における地域第四課及び阿蘇統計・情報センターの再編について」

農林水産省の組織再編の一環として、当JAにおける農政関係事務を担当してきた九州農政局地域第四課(所在地は菊池市)及び同局阿蘇統計・情報センター(所在地は阿蘇市)が、本年9月1日にて九州農政局(所在地は熊本市)の同内組織として再編される予定です。

今後は、九州農政局内で新たに再編された部課等を通じて、戸別所得補償制度等の農業経営の安定や農山漁村の6次産業化、食の安全・安心確保、統計調査等の業務をこれまで同様に推進します。

なお、詳しくは今後九州農政局の各業務担当者等がご案内を申し上げます。

九州農政局(所在地)〒860-8527

熊本市春日2丁目10-1 熊本地方合同庁舎  
(電話)☎096-211-9111

★詳細については、  
九州農政局総務課  
(電話)☎096-211-9111  
にお問合せ下さい。



写真上=後列左から2人目が安藤職員、  
同右から3人目が宮崎職員。  
写真左上=ヘド口除去作業をする安藤職員(左)

東日本大震災においてJAグループ熊本では、これまで募金・義援金・生活物資の支援、また支援隊の派遣を継続的に行っています。JA阿蘇からも営農部農産課の安藤俊職員と宮崎裕介職員の2名が7月18日から22日までの5日間、宮城県JA石巻管内で復興支援活動を行いました。以下、その報告です。

東日本大震災の支援活動

営農部農産課 安藤 俊



今回の活動は実施3日間でJA石巻管内のハウスの片付け、ヘド口の除去を行ってきました。作業は体力的

に大変な作業でしたが、微力ながら農家の方のお手伝いは出来たかなとは

思います。今回の支援活動を通じて一番心に残ったのは、農家の方に話を聞いたときに、「私達にはこれしかないから今更仕事も無いし農業しかない。あなた達が片付けてくれて、もう一回背中を押してもらった」と言われました。その言葉を聞いてなんとしてもやり逃げようと思いません。

被災地の現状を自分の目で見て、震災の凄まじさを肌で実感しました。復興までの道のりはまだまだ先になると思いますが、1年、1ヵ月でも早く被災地が復興する事を願っています。

大震災支援活動での作業と現状

営農部農産課 宮崎 裕介

今回、東日本大震災の支援活動ということで7月18日から22日までの5日間、宮城県に行ってきました。活動の内容は崩れたビニールハウスを撤去する作業と地面の上に堆積したヘド口を取り除く作業でした。天候に恵まれあまり暑すぎず作業ははかどったのではないかと思います。

被害の大きかった地域をバスの中からですが視察しました。実際に自分の目で見て壊れた建物や動かない信号機、田んぼや畑にゴロゴロ転がっている車や船など、受け入れ難い状況で、津波の怖さを改めて感じました。

「小国郷チーム」優勝  
JA阿蘇親善野球大会



小国郷チーム

県大会予選を兼ねた第9回JA阿蘇親善野球大会が7月9日、7チームが出場し西原村民グラウンドで行われ、小国郷が優勝を飾りました。小国郷は1、2回戦を大量リードで勝ち進み、決勝戦では3連覇を狙う長陽チームと対戦、2回に2点を奪われるものの5回で同点に追いつき、さらに6回に3点を追加し5対3とリード、そのまま小国郷チームが勝利し県大会への切符を手に入れました。



江藤組合長による挨拶式

「阿蘇町松チーム」優勝  
JA阿蘇親善ソフトバレー大会



阿蘇町松チーム

JA阿蘇女子職員の親睦と融和を図るとともに、県大会予選を兼ねた第7回JA阿蘇ソフトバレー大会が7月16日、小国ドームで開かれ11チーム約60人が熱戦を繰り広げました。試合の結果は次の通りです。▽優勝▽阿蘇町松チーム(阿蘇町)、準優勝▽南部でへっチーム(南部地区混合)、3位▽一の宮ワンチーム(一の宮)。尚、上位3チームは9月3日の県大会に出場します。



南部でへっチーム



一の宮ワンチーム

## 「目標は初級資格試験に合格すること」



長陽支所金融共済係 鶴林 愛莉  
(ツルバヤシ アイリ=平成5年1月生まれ=18歳)

長陽支所で貯金窓口を担当している鶴林愛莉さん。今年4月に入組し長陽支所の“顔”として毎日お客様をあたたかく迎えてくれています。

性格はかなり荒っぽいですよ～という鶴林さんは、中学・高校とバレーボール部に所属。(たしかにJA阿

蘇親善バレーボール大会の時はかなりの腕前でした…。記者より)

休日は大好きな加藤ミリヤの曲を聴きながらドライブしたり、愛犬のスペック(ミニチュアダックスフンド=オス1歳)とたわむれているそうです。

最近うれしく感じることは、自分の給料で好きな洋服とかを買いに行ける事。あと、ようやく仕事にも慣れ自分一人でこなせるようになった事だそうです。最近ハマっていることは、デコログという携帯のデコメールを利用してカラフルなブログを作ること、毎日更新しているそうです。(私にはどういうものか全く分かりません…。記者より)

今年の目標は初級資格試験に合格すること、そして早くお客様に信頼されるような職員になりたいと話していました。



## 平成24年度 JA阿蘇職員募集

### 1. 申込書類受付期間

◎高校新規(平成24年3月卒業見込み)…学校を通じて申込みをして下さい。

平成23年9月5日から平成23年9月7日まで

◎高卒(既卒)・短大卒・大学卒…直接JA阿蘇本所に申込みをして下さい

平成23年7月12日から平成23年9月7日まで

### 2. 試験日(一次試験) 平成23年9月16日(金)

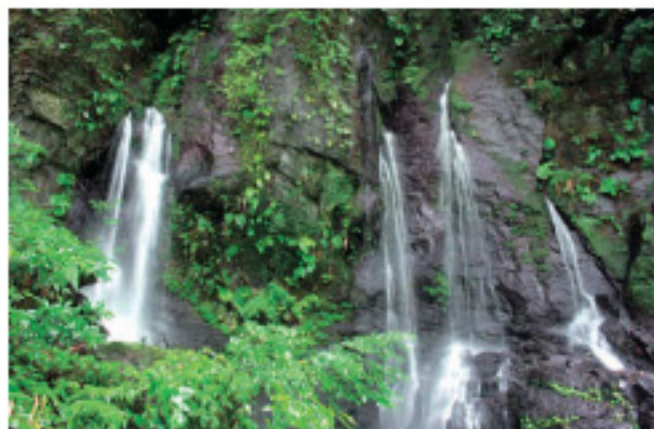
### 3. 募集要領の配布 JA阿蘇本所総務部総務人事課および各中央支所・支所で配布します。

#### 問い合わせ先

JA阿蘇本所 総務部総務人事課 (担当)馬場・工藤  
(電話)0967-22-6111

高森町津留永野地区に「うそぐいの滝」という変わった名前の滝があります。滝に行く道があまりにも険しく、誰もこの滝を見た人がなく、本当にこの滝を見た人が周りの人に話しても、「うそぶいている」としか思われなかったことから、「うそぐい」という名前になったそうです。滝の落差は約30m、岩肌のあちこちからは湧水が湧き出しています。

#### 『うそぐいの滝』説明 表紙写真



## 理事会・監事会報告

### ■平成23年度第4回理事会

日時 平成23年6月20日午後3時00分

場所 熊本交通センターホテル

#### 1. 開会

#### 2. 組合長挨拶

#### 3. 協議事項

#### 5月未実績について

1) 第10回通常総代会の開催について

2) 独立監査人の監査報告書について

3) 電気料金削減にむけた取組について

4) 平成22年度決算期末監事監査報告について

5) 貸出金について

6) 平成22年度決算監査概要書内部統制等に関する改善指示書について

報告事項 1) 平成21年度米の最終精算について

#### 4. 閉会

### ■平成23年度第5回理事会

日時 平成23年6月24日 総代会終了後 午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

#### 1. 開会

#### 2. 挨拶

#### 3. 議題

1) 仮議長の選任について

2) 代表理事及び役付理事の選任について

3) 常勤役員以外の団体理事等への就任の承諾について

4) 理事の順位について

5) 農業委員の選任について

#### 報告事項

1) 新任非常勤理事研修会の開催について

2) 理事会開催日程について

#### 4. 閉会

### ■平成23年度第6回理事会

日時 平成23年7月4日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

#### 1. 開会

#### 2. 組合長挨拶

#### 3. 協議事項

1) 業務報告書の行政庁への提出について

2) 事業のご案内2011(ディスクロージャー誌)について

3) 事業のご案内2011(ミニディスクロージャー誌)について

4) 各専門委員会等の委員の互選について

5) 役員賠償保険継続加入と保険料徴収(案)について

6) パートタイマー就業規則の制定について

7) 平成23年度役員報酬(案)について

8) 組合長等に事故あるときの代理・代行順位について

9) 役員退職慰労金の支給について

10) 平成24年度JA阿蘇職員募集について

11) 平成23年度産米出荷契約金について

12) 職員夏期賞与支給について

13) 農業委員の選任(西原村)について

#### 報告事項

1) 常勤役員以外の団体理事等への就任について

2) 平成22年度座談会(第10回総代会事前説明会)

開催状況について

#### 4. 閉会

### ■平成23年度第7回理事会

日時 平成23年7月27日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

#### 1. 開会

#### 2. 組合長挨拶

#### 3. 協議事項

委員会報告(総務専門委員会・経済専門委員会・金融共済専門委員会)

6月未実績について

1) 支所運営委員の承認について

2) 相続野金特例対応要領(案)について

3) 平成22年度決算事務監事監査回答書(案)について

4) 平成22年度全国監査機構決算期末監査回答書(案)について

5) 阿蘇農場(仮称)建設委員の選出について(案)

6) アスパラ計量結束機導入事業建設委員の選出について(案)

7) 貸出金について

#### 報告事項

1) 経営状況に関する事項の「体制整備モニタリング」報告

並びに「経営管理資料」報告について

2) 不祥事未然防止の為の行動計画部署別違背管理概要報告

(23年6月末現在)について

3) 平成23年度JA阿蘇コンプライアンス・プログラムの進捗状況

(23年6月末)報告について

4) 平成23年度ドライブウェイサービスコンテスト阿蘇大会について

5) 平成23年度役員購買事業推進個人目標管理について

6) 総代会の質問要望等について

7) 理事会資料等の電子化対応について

8) 役員施設支所視察巡回について

9) 平成23年度米麦等種卸監事監査実施について

10) 役員等定数検討懇話会委員の選出について

11) ナス苗補償対応状況について

#### 4. 閉会

### ●平成23年度第5回監事会

日時 平成23年6月24日(金) 午後1時30分

場所 一の宮中央支所小会議室

#### 1. 開会

#### 2. 仮議長選任

#### 3. 議題

① 役付監事の選任について

② 監事の順位について

③ その他

#### 4. 閉会

### ●平成23年度第6回監事会

日時 平成23年7月12日(火) 午後3時00分

場所 本所2階第1会議室

#### 1. 開会

#### 2. 挨拶

#### 3. 議題

① 監事会規程について

② 平成23年度役員報酬について

③ 役員退職慰労金の支給について

④ 平成23年度米麦等種卸監事監査(案)について

⑤ 農改辦JA要綱・JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」について

⑥ その他

#### 4. 閉会



# JAの 積立型終身共済

ご加入できる年齢  
40歳～75歳

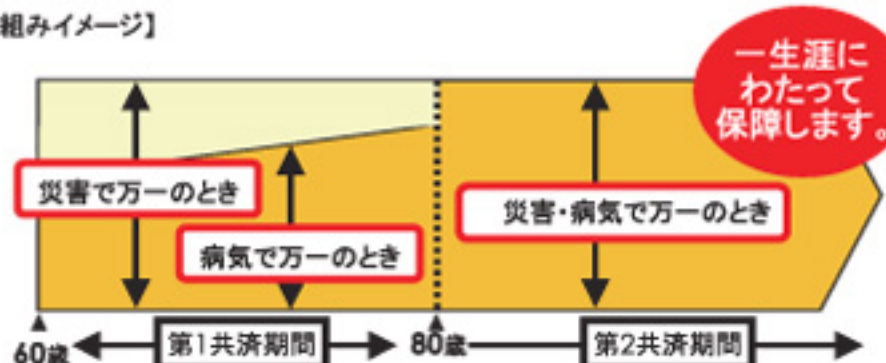
## 一生涯保障!

葬儀費用やローンの返済など  
万一のときの様々な出費への  
備えをカバーできます。

## ご加入できます!

医師による診査なしの簡単な手続き  
で、お気軽にご加入いただけます。  
※身体状況によっては、お引受けできない  
場合もございます。

### 【仕組みイメージ】



◆「第1共済期間」とは、契約日から被共済者が80歳に達する日の属する共済年度の末日までの期間をいいます。

◆「第2共済期間」とは、第1共済期間満了日の翌日以降の期間をいいます。

※万一とは、死亡・第1級後遺障害の状態、所定の重度要介護状態のいずれかに該当する場合のことです。

ご契約例：加入年齢60歳 一時払共済掛金100万円

＜ 万一の場合の共済金とご解約時の返戻金について ＞ 掛け捨てではない一生涯の保障です。

共済年度	年齢	災害で万一の場合の共済金		病気で万一の場合の共済金		(参考) 解約返戻金	
		男性	女性	男性	女性	男性	女性
1年	60歳	1,319,300円	1,369,300円	1,011,541円	1,012,131円	993,048円	993,278円
2年	61歳	1,319,300円	1,369,300円	1,023,082円	1,024,261円	1,004,403円	1,005,058円
3年	62歳	1,319,300円	1,369,300円	1,034,622円	1,036,392円	1,015,881円	1,016,979円
4年	63歳	1,319,300円	1,369,300円	1,046,163円	1,048,522円	1,027,447円	1,029,051円
5年	64歳	1,319,300円	1,369,300円	1,057,703円	1,060,653円	1,039,139円	1,041,235円
10年	69歳	1,319,300円	1,369,300円	1,115,406円	1,121,305円	1,099,203円	1,104,279円
15年	74歳	1,319,300円	1,369,300円	1,173,109円	1,181,958円	1,162,319円	1,170,901円
20年	79歳	1,319,300円	1,369,300円	1,230,811円	1,242,610円	1,230,148円	1,241,941円
25年	84歳	1,319,300円	1,369,300円	1,319,300円	1,369,300円	1,255,065円	1,278,598円
30年	89歳	1,319,300円	1,369,300円	1,319,300円	1,369,300円	1,274,665円	1,311,005円
35年	94歳	1,319,300円	1,369,300円	1,319,300円	1,369,300円	1,290,064円	1,336,734円
40年	99歳	1,319,300円	1,369,300円	1,319,300円	1,369,300円	1,302,995円	1,355,235円

※ 記載の共済金・解約返戻金の表示額については、各共済年度の12か月目に万一の場合・解約を行った場合の試算値です。万一の状態になられた日・解約された日により異なる場合がありますのでご注意ください。

※ ご契約時にお支払いいただいた共済掛金のうち、その一部は年々の死亡共済金などのお支払いおよび契約締結・維持に必要な経費にあてられます。そのため、早期にご解約される場合、お支払いする解約返戻金がお支払いいただいた共済掛金を下回る場合があります。

お問い合わせ

JA阿蘇 各支所窓口へ



※ この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。【11439990017】

全国の  
うまかもんが  
勢揃い!!

入場  
無料

家族揃って  
気軽にお越し下さい♪

# JA食材20周年記念

全国の食材メーカー40社! 県内の各JAが一同に集結!!

## ふれあい食材“感謝の集い”

とき 平成23年9月23日(金祝) 9:30~15:00

ところ グランメッセ熊本 Dゾーン 熊本県上益城郡益城町 福富 1010

### イベントスケジュール

- 9:30 オープニングセレモニー
- 10:30 記念講演「食と健康」  
日本赤十字社熊本健康センター名誉所長  
小山 和作氏
- 12:00 英太郎ものまねショー
- 13:00 お楽しみコーナー
- 14:00 大抽選会
- 14:35 もちなげ

※スケジュールは予定です。

### ふれあい食材とは?

JAふれあい食材宅配事業は、平成3年に事業開始以来、食材会員の健康とくらしを守り、安全・安心な商品をお届けし、今年で20年目を迎えます。

英太郎 <まモン



くまもとリブライズミヤコウナー(仮称)  
くまもとリブライズ熊本県庁(仮称) 展示1号

試食して、  
自分の好きなものを  
探しだそう。

おいしい食材と  
ふれあってください。